

## 令和6年度手話言語ワークショップ「聞こえる・聞こえない みんなで考える防災」 アンケート結果

来場者数 49人 (ろう者11名、一般24名、協力員・手話サークル等関係者14名)

### 1 回答者 39人

聴覚障がい者	7人
手話サークル等の関係団体に所属	15人
市民	15人
その他(他町在住者)、未回答	2人

### 2 ワークショップについての意見・感想

- ・ジェスチャーで伝えることの難しさを感じた。他のメンバーから伝わりやすい工夫を具体的に教えてもらい、大変有意義だった。
- ・ジェスチャーや口語で伝える難しさ、伝わった時の対話の楽しさを体験できた。
- ・一生懸命伝えようとする相手と気持ち伝わり、安心してもらえるようになった。
- ・手話を知らない耳の聞こえない方へどう伝えるかを考える重要性に気付くことができた。
- ・一言一言表現しようとする、かえって分かりづらくなってしまったことがあった。要約しながら、一番伝えたい事を伝えられるようになりたいと思った。

### 3 講演の意見・感想

- ・聞こえない人が困ることや災害時に必要な支援等について、具体例を挙げながら説明していただいたので分かりやすかった。大切な情報を目に見える形で残すことは、重要かつ多くの人のためになると改めて思った。
- ・セルフレジ等便利なようでは人によっては便利ではないこと、目を合わせて話してくれないと「何か言ってる」ことすらわからないこと、なるほどと気付かされた。
- ・とても分かりやすかった。聞こえない人は一目では分かりづらいため、普段の生活であまり気にしていなかったが、これからは周囲に困ってる様子に気付けば、勇気を持って声を掛けてみようと思った。
- ・年齢や聞こえなくなった背景によって、筆談、手話等を選んで伝えることが大事。

### 4 旭川市の手話施策について意見

- ・講習会等の長い期間ではなく、短時間で気軽に手話に触れ合う機会を増やしてほしい。
- ・実際に避難した経験がない人が多い。過去に災害にあった人からの講演や体験型のグループワークを希望する。
- ・手話だけでなく、手話を使わない聞こえない人にも伝える方法を学ぶ機会が大切。
- ・一般市民の方が行ってみたい！と思ってもらえるようなイベントができるとうれしい。
- ・聞こえない方や外国の方を支援する防災グッズがあると良い。